|  |  |
| --- | --- |
| 人口**参考：ベトナム基礎データ及びミッション実績** | 約9,466万人　（ベトナム統計総局）　 |
| 面積 | 約33万平方キロメートル（日本の約0.9倍）　（ベトナム統計総局） |
| 首都 | ハノイ |
| 主な都市 | ホーチミン　844万人ハノイ（首都）　742万人　　（2017年,出所：ベトナム統計総局） |
| 言語 | ベトナム語 |
| 宗教 | 仏教、カトリック、カオダイ教他 |
| 在日人口 | 291,494人（2018年6月末、法務省） |
| 在留邦人数 | 17,266人（2017年10月、外務省） |
| 日系企業進出状況 | 1,796社 （2018年6月、ベトナム日本商工会加盟企業）主な企業名：キャノン、パナソニック、ホンダ、トヨタ、富士通、日本電産、TOTO、ブリヂストン、富士ゼロックス、マブチモーター、イオンなど |
| 国際競争力 | 77位/137か国・地域中　（2018年、世界経済フォーラム） |
| ビジネス環境 | 70位/190か国・地域中　（2018年11月、世界銀行） |
| インフラ整備状況 | 電化率 98.8％（2015年、WDI）水道普及率 95％、下水普及率　75％　（2012年、WDI） |

【国家元首・閣僚】

出所：外務省ウェブサイト

　　　主な都市： CIA, The World Factbook

日系企業進出状況：　外務省・海外在留邦人数調査統計 平成30年（2018年）要約版

（※注：日本商工会（ハノイ、ホーチミン、ダナン）加盟企業数）

　　　国際競争力：世界経済フォーラム　The Global Competitiveness Report 2018

　　　ビジネス環境：世界銀行　Doing Business 2019

インフラ整備状況：ベトナム電力公社 EVN、世界銀行 WDI



グエン・フー・チョン（Nguyen Phu Trong）

役職：共産党中央執行委員会書記長

就任期間：2011年1月19日（現職）

1944年4月14日（生）

（USドル）

**ハノイ（首都。第二の都市）**

ホーチミン

（第一の都市）

ダナン（第四の都市）

ハイフォン（第三の都市）

**■「共産雑誌」編集長を経て、ハノイ市党委員会委員長、国会議長を歴任。**

**■第11回党大会（2011年1月）において党書記長に選出。
　（第12回党大会（2016年1月）において留任が決定）**

出所：首相官邸（日本）ウェブサイト





チン・ディン・ズン

副首相

グエン・スアン・フック

首相

チャン・ダイ・クアン

国家主席

※2018年9月21日逝去

出所：経済産業省所管CV

**直近（2016年）の共産党大会及び国会議員選挙の結果**

【ポイント】

◆2016年は、5年に一度の共産党大会及び国会議員選挙が行われ、2021年までの共産党新指導部、新政権が発足。

◆3月21日～4月12日にかけて開催された第１３期国会第１１会期において、クアン国家主席、フック首相、ガン国会議長が就任。

◆5月の国会議員選挙を経て、7月の第14期国会第1会期においてクアン国家主席、フック首相、ガン国会議長が改めて再任。

ベトナムのマクロ経済指標

【経済概況】



出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成31年3月）、\*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」より九州経済産業局作成

九州の対ベトナム貿易額の推移

**九州・ベトナム経済交流ミッションの実績**

**2007（平成19年）.1.21 ～1.28**

（ハノイ、ホーチミン、ハイフォン）

ベトナム経済交流調査団（総勢30名）

**2009（平成21年）.2.24 ～3.1**

（ハノイ、フエ、ホーチミン）

ベトナム経済交流ミッション訪問団（総勢47名）

**2010（平成22年）.7.20 ～7.24**

（ハノイ）

ベトナム経済交流ミッション訪問団（総勢65名）

**2013（平成25年）.8.27 ～9.1**

（ハノイ・ホーチミン）

ベトナム経済交流ミッション訪問団（総勢43名）

**2016（平成28年）.2.21 ～2.26**

（ハノイ・ホーチミン）

ベトナム経済交流ミッション訪問団（総勢46名）

**2018（平成30年）.3.11 ～3.16**

（ホーチミン、ダナン、ハノイ）

ベトナム経済交流ミッション訪問団（総勢41名）



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成